

令和5年度
白山市立松任小学校
学校だより

学校教育目標

すすんで学び、心豊かで、

たくましい児童の育成

～みんな元気な学校～

2023年5月25日 NO.3



上着のいらないさわやかな晴天が多くなってきました。子どもたちは学習に生活に元気に取り組んでいます。はじける笑顔や明るい歓声を学校のあちらこちらで見聞きすることができます。

先日は、「1年生を迎える会」を行いました。コロナ禍のため実施は3年ぶりです。全ての学年がそれぞれの役割を、力を合わせて成し遂げました。2年生はプレゼント、3年生は招待状、4年生はクイズ、5年生は学習について、6年生は学校紹介です。全校で歌のプレゼントもありました。上級生の温かい気持ちが届いたのでしょう、1年生はとてもうれしそうでした。

松任小学校ではこれからも、「仲間と力を合わせて物事を成し遂げようとする気持ちや行動」を大切に、学びを進めていきたいと思えます。

やさしく思いやりのある子に ～傾聴のすすめ～

4月から、全ての学年・学級で、「手を止めて、相手の方を向いて聴く」ということに取り組んできました。学習の土台作りとしての指導であり、共感的な人間関係を築くための指導でもあります。

ある書籍によることですが、「好感の持てる人」というアンケートで最も多かった答えは、「話が上手な人、面白い人」などではなく、「話をよく聞いてくれる人」だったそうです。

傾聴ができると人間関係がよくなります。そして、傾聴とは相手の言葉を聞くことではなく、「相手の伝えたいことをなるべく相手の身になって共感し、理解したことを言葉で返す営み」を指すそうです。傾聴することで人を助けることができます。傾聴すると自分が成長することにもつながります。相手を安心させる聴き手は、話し手のありのままを尊重するとともに、話し手の幸せを心から願っているという特徴があるそうです。

傾聴のすばらしさを伝え、そうできることを目指すとともに、大人である我々自身ができるように努めていくことが大切だと思っています。やさしく思いやりのある子の育成のために。



いじめを見逃さない学校に ～松任小学校いじめ防止基本方針を踏まえて～

昨今、いじめに関する暗いニュースが後を絶ちません。しかし、いじめは許されないことと知っていながら、どの子どもにも、どの学校にも、起こりうるものです。

そのため、国はいじめ防止対策推進法を制定し、学校にも学校いじめ防止基本方針を定めるように規定しています。松任小学校では、いじめを発見したり相談されたりした場合、学校いじめ防止基本方針をもとに、以下のように対応を進めていきます。

- 些細なことであっても、組織的に対応を進めます。
- 被害児童を徹底的に守り抜きます。
- 事実関係を被害・加害児童から丁寧に聞き取り確認します。
- 事実確認をもとに解消と再発の防止に向けた指導を行います。
- 一連の指導の過程は保護者の方にも連絡し、ケースによってはご協力をお願いすることがあります。
- いじめが止んだ後も3か月を目安に状況を注視し、本人及びその保護者に対して確認の上、解消とします。



学期に一度、持ち帰りいじめアンケートも計画していますので、ご協力をお願いします。なお、学校いじめ基本方針は本校HPにアップロードしておりますのでご覧ください。